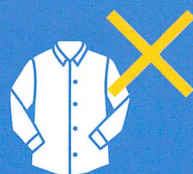


指がまっすぐ伸びずにお困りではありませんか？

「デュピュイトラン拘縮(こうしゅく)」という病気が原因かもしれません。手のひらから指にかけてしこりができ、徐々に指が伸ばしにくくなる病気です。



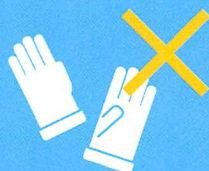
洗顔しづらい



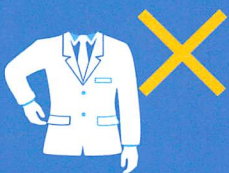
ボタンを留めづらい



パソコンの操作がしづらい



手袋をはめにくい



手をポケットに入れにくい



スポーツができない

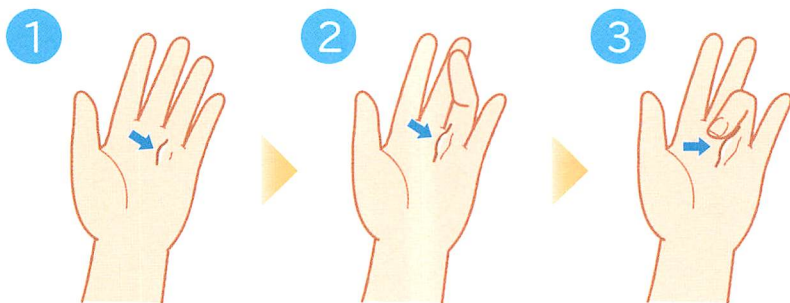
写真は実際の症例ではなくイメージです。

旭化成ファーマ

デュピュイトラン拘縮(こうしゅく)とは どんな病気？

デュピュイトラン拘縮という病名を初めて聞く方も多いかと思いますが。1832年、当時謎だったこの病気を初めて詳細に報告したフランスの外科医ギヨーム・デュピュイトランの名前からデュピュイトラン拘縮と名付けられました。

- デュピュイトラン拘縮とは、手のひらから指にかけて“しこり”ができ、病気の進行に伴って、徐々に指が伸ばしにくくなる病気です。
- 高齢の男性に比較的多くみられるほか、家族に同じ病歴がある、糖尿病、手に外傷のある方などが、なりやすいといわれています。
- 薬指や小指に多く発症します。
- 通常は、痛みはありません。



手のひらに結節(しこりやくぼみ)ができます。

症状が進行すると、拘縮索^{※1}ができ、徐々に指が曲がり始め、関節の動きが制限されるようになります。

さらに症状が進行すると拘縮索が指を引っ張ることにより、指が屈曲拘縮^{※2}して伸ばすことができなくなります。

こうしゅくさく
※1 拘縮索…手のひらや指にある腱膜などに体内で産生されたコラーゲンが異常に沈着して太い束のようなものが形成された状態のもの。皮膚の上からでも確認できる

くつきやくこうしゅく
※2 屈曲拘縮…指の関節が拘縮索により屈曲した状態になり、伸ばす動作が制限された状態のこと

病気が進行するとどうなるの？

- 病気が進行すると指が曲がって伸ばすことが難しくなり、手を使う動作がしにくくなって、日常生活に不便をもたらします。

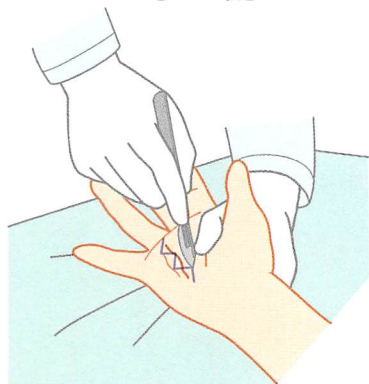
< 日常生活の例 >

ドアノブを回す、洗顔をする、握手、車の運転、手を使うスポーツなど

- 治療をしないと自然には治らない病気なので、生活に支障を来したり不便を感じる場合は早めに治療を開始することが望ましいです。

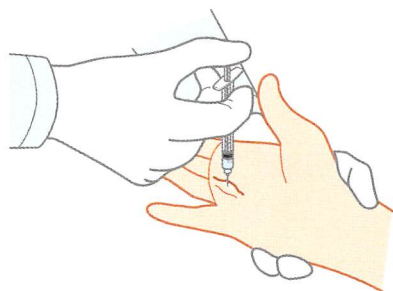
主な治療法は、**手術**と**薬剤治療**（局所注射）です。

手術



手のひらを切開して、“しこり”の原因となっているものを取り除く術式が主流です。

薬剤による治療



“しこり”の部分に薬を注射し、翌日に、医師が指を伸ばす処置を行います。

デュピイトラン拘縮(こうしゅく)の
治療をおこなっている医療機関は
限られていますので、
担当医師にご相談ください。

デュピイトラン拘縮とその治療に関する
情報サイトも是非ご利用ください。

旭化成ファーマ

「患者・ご家族のみなさま」情報ページ



医療機関名

旭化成ファーマ